

Ruby City MATSUE Project

中学生 Ruby 教室講習実行環境・ご利用の手引き

本文書は、松江市における中学生 Ruby 教室実施のために必要となる各種ソフトウェアをまとめた「講習実行環境」（以下、「本環境」）を利用するための説明書です。

「インストール」無しで、このファイルがあればすぐに Ruby でプログラミングすることができます。本環境には、松江市の中学生 Ruby 教室のテキスト、サンプルファイルの他、以下のソフトウェアを同梱しています。

(1) Ruby 1.9.3-p429(mingw 版) : Ruby 本体

公式サイト : <http://www.ruby-lang.org/ja/>

(2) DxRuby 1.4.0 : Ruby でゲームをつくる際に便利な機能が搭載された追加プログラム

公式サイト : <http://dxruby.sourceforge.jp/>

(3) TeraPad : Ruby のコードを書くためのエディタ (テキスト編集) ソフト

公式サイト : <http://www5f.biglobe.ne.jp/~t-susumu/library/tpad.html>

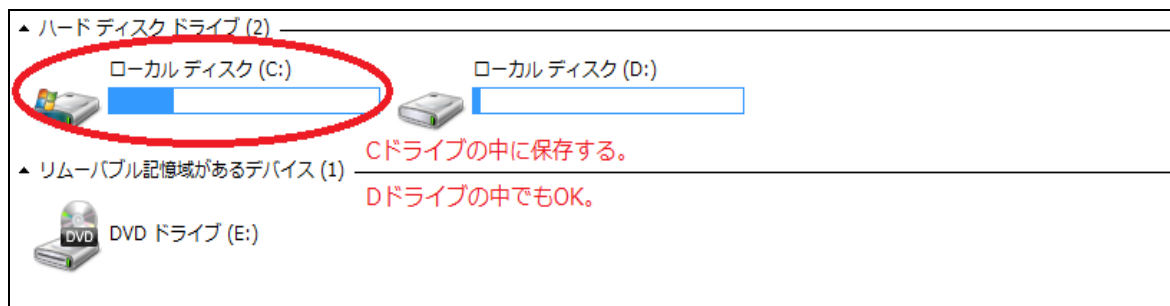
1. ディレクトリ構造 (ディレクトリとはフォルダとほぼ同義です)

ファイルの配置や、配置のルールは以下のようになっています。

「トップディレクトリ」: 本 ReadMe.txt が存在する下記のフォルダを指します。

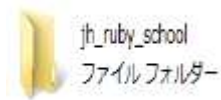


- ※ 本マニュアルは、ダウンロード後に「jh_ruby_school-master」というフォルダ名称から「-master」を削除して「jh_ruby_school」というフォルダ名に変更することを前提に作成していますが、そのまま削除せずに利用しても問題ありません。なお、フォルダの名称を全く別の名称に変更しても問題ありませんが、半角英数字以外は利用しないでください。(例:「Ruby 教室用」というフォルダ名は NG)
- ※ 基本的に、PC 内のどのフォルダ内に保存しても動作しますが、「c:\jh_ruby_school」(C ドライブの直下)という場所に保存されることを想定しています。



- ※ ただし、ディレクトリに「漢字」「ひらがな」「カタカナ」等が含まれないよう注意してください。

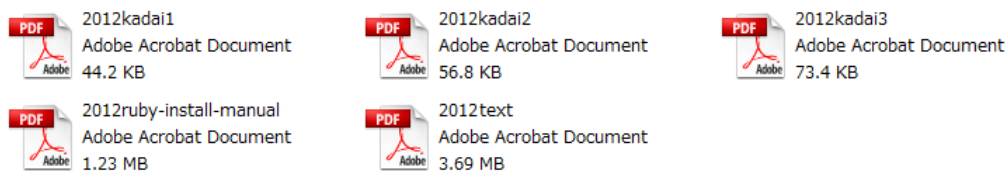
(例：C:\¥Ruby 教室/jh_ruby_school、のように「教室」のような漢字が含まれているフォルダに保存されると動作しません。



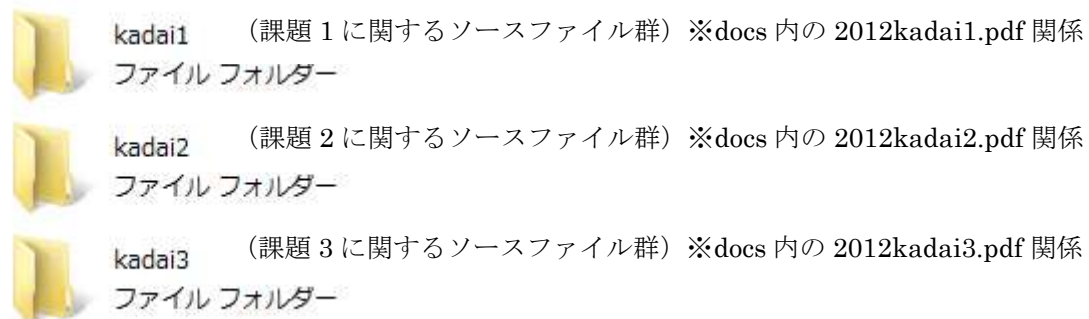
[トップディレクトリ]



docs (中学生 Ruby 教室の PDF テキストが入っています)



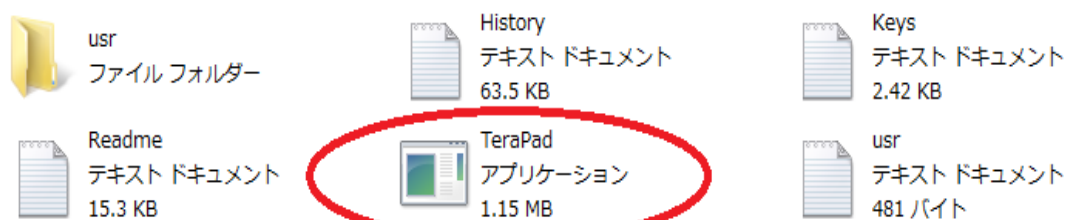
examples (各課題アプリの完成版サンプルが入っています。すぐに動かせます)



Ruby193 (MinGW32 版 Ruby 1.9.3-p429 の実行環境本体)

src (学習者が自分で書いたプログラムを保存する場所。初期は空)

terapad (テキストエディタ「TeraPad」が入っています)



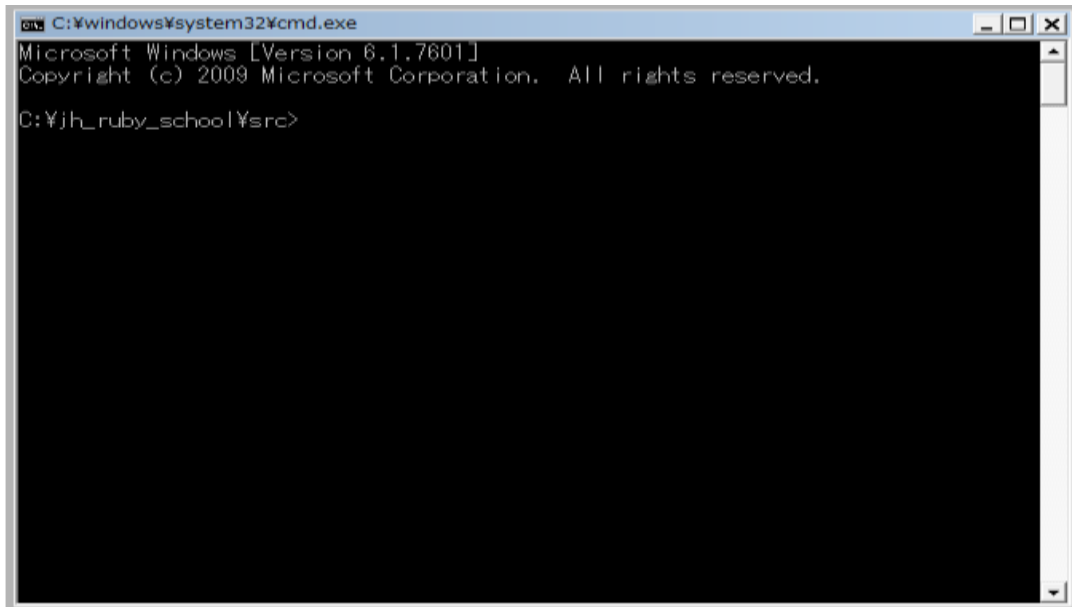
TeraPadの本体

2. 利用方法

「cmd.bat」をクリックするとコマンドプロンプトが起動します。



(下記がコマンドプロンプトです)

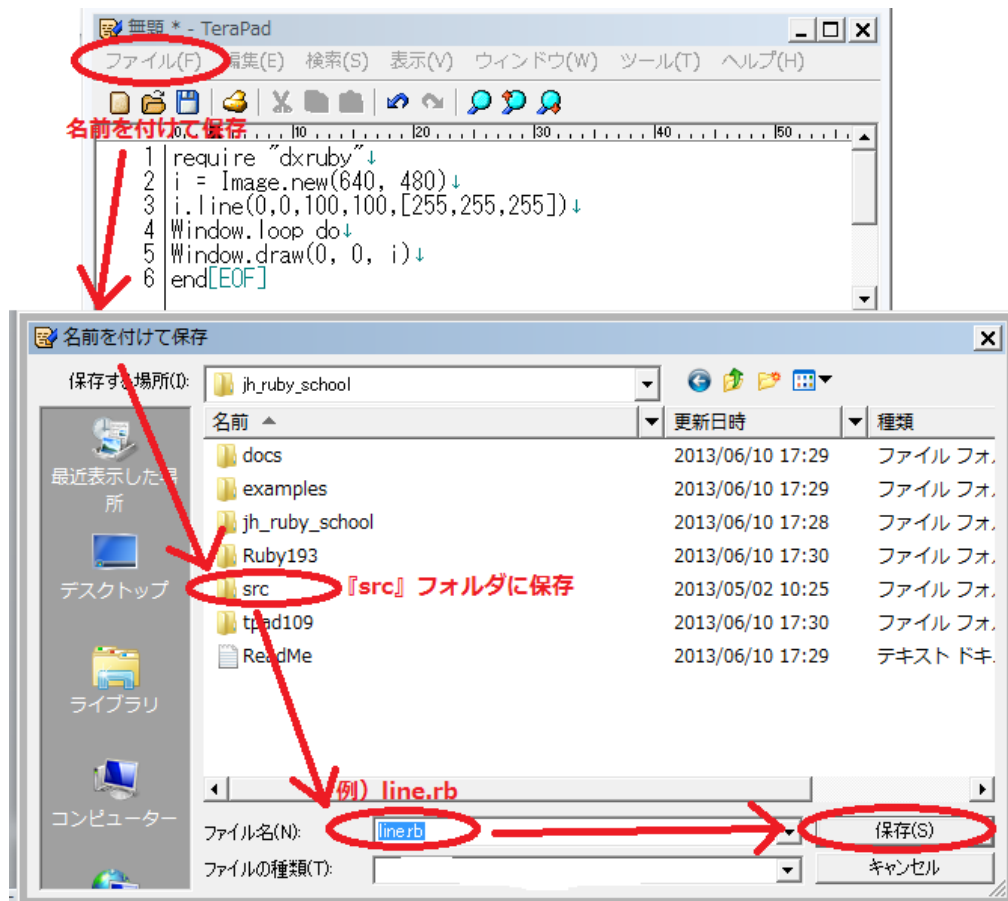


- ※ 講習を進めるなかで何度も開くことになるので、「cmd.bat」ファイルのショートカットを作成し、デスクトップへ配置しておくとう良いでしょう。
- ※ 同時に、テキストエディタ「TeraPad」についても、「terapad/terapad.exe」ファイルのショートカットをデスクトップに作成しておくことをお勧めします。ショートカットの作成は必須作業ではありません。

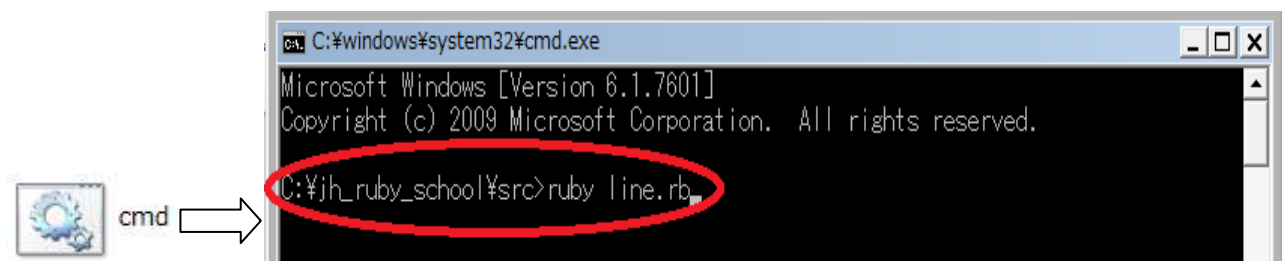
3. 学習の流れ

docs ディレクトリにある PDF 版のテキスト「2012text.pdf」を参照しながら、Ruby の学習を進めます。テキスト中に出てくるサンプルプログラムを実行する際は、src ディレクトリに TeraPad を使ってプログラムのファイルを作成し、cmd.bat から起動したコマンドプロンプト上で実行して確認しましょう。





例えば、上記のように、src フォルダ内に「line.rb」というファイルを作成したとすると、実行するには cmd.bat 起動後以下のように実行することになります。



※ カレントディレクトリは cmd.bat 起動直後から src になっていますので、そのまま実行可能です。

examples ディレクトリのサンプルプログラムを動かすには、以下のようにします。

cmd.bat 起動後、例えば examples/kadak3/sample3.rb を実行する場合、

> cd ..¥examples¥kakai3

> ruby sample3.rb

```

C:\¥jh_ruby_school¥src>cd..¥examples¥kakai3
C:\¥jh_ruby_school¥examples¥kakai3>ruby sample3.rb

```

4. 講習環境の削除方法

デスクトップのショートカットを削除後、「トップディレクトリ」ごと本環境をゴミ箱に送ってください。「トップディレクトリ」以外へは何もファイルを配置していないので、これだけで全て削除可能です。

5. 推奨実行環境

本環境は、**Windows 7（32bit 版）**での動作を前提に作成しています。

Windows のエディション（Home, Professional など）は問いません。

上記以外では、以下の Windows 上で動作確認をしています。

- Windows Xp (32bit)
- Windows 8 (64bit)

※ なお、**Mac や Linux では動作しません**（Ruby は動作しますが、同梱している他のアプリケーションが動作しないためです）。